

令和4年度全国高等学校総合体育大会実施における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針 《 一ウエイトリフティング競技における対応策一 》

令和4年7月8日

参加者等の定義

- 1 大会参加者：会場等に入場する全ての方
- 2 大会関係者：大会役員、競技運営役員・補助員、来賓、報道員、視察員（大学関係者）
- 3 選手関係者：選手、監督、引率教員、都道府県コーチまたはセコンド、各学校登録外選手（セコンド）
- 4 出場チーム：所属や名称を問わず、活動や移動行程等を同一とする集団
- 5 観客：親族応援者、その他一般観客

参加基準

- 1 全ての参加者は会場利用2週間前からの体調管理を行い、「健康チェックシート」に記録すること。
- 2 感染又は感染が疑われる場合の参加判断基準は以下のとおりとする。また、参加校において以下の事案が発生した場合は、速やかに新居浜市実行委員会事務局へ報告すること。
 - (1) 大会参加（来県）の2週間前
 - ア 感染者又は濃厚接触者は参加を辞退する。ただし症状が回復且つ療養が解除され医療機関等の許可が出た場合は学校長の責任において参加可能とする。
 - イ それ以外の選手については参加校の責任において判断すること。
 - (2) 大会参加期間中
 - ア 37.5度以上の発熱等が発症した場合、直ちに医療機関等を受診し、指示を待つこと。検査結果が出るまでは出場チームは参加辞退とする。また、参加校の新型コロナウイルス感染症対策担当者は陽性の診断が出た場合の感染者の自宅までの移送手段、濃厚接触者のリストアップをしておくこと。
 - イ 感染者又は濃厚接触者は参加を辞退すること。また、感染者については参加校の新型コロナウイルス感染症対策担当者が予め準備している手段で自宅へ帰還すること。
 - ウ 37.5度以上の発熱等の体調不良者で非感染の場合は症状が回復するまでは参加を辞退する。
 - エ それ以外の選手は医療機関等の指示を遵守した上で、参加校の責任において判断すること。
- 3 報道、視察員並びに観客についても上記の参加判断基準を入場可能の基準とする。
- 4 選手が参加辞退の対象になった場合は、関係する親族応援者も入場不可とする。

入場制限

- 1 有観客で実施する。ただし、以下のとおり制限を設ける
 - (1) 選手関係者は参加申込により事前登録をしている者は常時来場できる。ただし、登録外選手（セコンド）は、各学校5名までとする。
 - (2) 報道関係者、視察員は徳島県実行委員会、または新居浜市実行委員会ですべて事前登録を完了した者とする。新居浜市実行委員会での事前登録は大会ホームページにて案内する。
 - (3) 親族応援者は大会ホームページにて案内する事前登録を完了した者は常時来場できる。ただし、選手1名につき5名までとする。（事前登録の案内及び開始は抽選会後を予定）
 - (4) 選手関係者は各会場へ入場する際は本人のIDカード（QRコード付き）を提示すること。ただし、8月4日についてはIDカード配付前のため、受付にある入場簿に記入してから入場すること。
 - (5) 競技運営役員・補助員、報道関係者、視察員はIDカード（QRコード無し）を提示すること。
 - (6) IDカードは審判監督会議にて配付する。以降については競技会場の受付にて配付する。
 - (7) 親族応援者は登録後に送信されるメールアドレスに記載されたQRコードを提示すること。
 - (8) 観客は収容可能人数によって入場規制を行う場合がある。ただし、当日に試合のある選手の親族応援者は優先入場できるように配慮する。
 - (9) 試合場と同フロアにある応援席は、実施競技に出場している選手と同所属の選手関係者及び親族応援者のみとする。該当者以外の方は、指定された観客席等で観戦すること。
 - (10) 練習会場は予約制とし、入場時にはIDカードを提示すること。ただし、8月4日についてはIDカード配付前のため自己申告のみで入場を許可する。
 - (11) 開会式は参加者の制限を一律に設けないが、人数制限を行う場合があるため、参加校内での選定等、多くの学校が参加できるように配慮すること。参加者は監督会議時に配布されるIDカードを必ずつけること。

事前周知

- 1 参加校は新型コロナウイルス感染症対策の担当者を1名以上配置し、原則、参加校の監督又は引率責任者とする。
- 2 会場にゴミ箱は設置しない。持ち込んだものは各自がゴミ袋等を用意し、持ち帰ること。
- 3 手洗いに使うマイタオルを持参（貸し借りをしない）すること。
- 4 大会期間中は外出を避け、健康管理に務めること。
- 5 除菌シート、アルコール消毒、マスク、体温計など、必ず学校単位で準備すること。
- 6 記録表やスタートリストなどの配布は行わない。QRコードを読み取り、各自で必要な情報を取得する形式とする。
- 7 IDカードは来場時に必ず持参すること。
- 8 練習会場への輸送バスは用意する。ただし、状況によって中止する場合がある。
- 9 他の参加校へチームとしての参加は控えること。参加し新型コロナウイルス感染症または疑いが発生した場合は同一の出場チームとして判断される場合がある。

受付

- 1 選手、監督(引率教員含む)、都道府県コーチ(セコンド)、及び各校セコンド(登録外選手)
 - (1) 開会式会場及び競技会場の受付では監督(代表者)が健康チェックシート②に、その日の入場者を記入し提出する。(健康チェックシートは大会ホームページからダウンロードすること)
 - (2) 入退場時は、検温しIDカードをQRコードリーダーで処理をした後通過すること。
- 2 競技運営役員・補助員、報道関係者、視察員
開会式会場及び競技会場の受付で検温を実施し、健康チェックシートとIDカードを提示し名簿で照合後に通過すること。なお、報道関係者、視察員については、退場時にIDカードを受付に返却すること。(徳島県実行委員会発行の共通IDは除く)
- 3 練習会場では検温のみ実施、健康チェックシート提出の必要はない。

諸会議 (ソーシャルディスタンス・マスク等着用・手指消毒の徹底)

- 1 諸会議はできるだけ短時間で計画し、席の間隔を十分とり実施する。
- 2 監督会議は、席の間隔を十分とり各校代表1名のみでの参加とする。(男女それぞれに参加する学校も、原則1名のみとする)
- 3 感染拡大防止対策について、周知徹底する。

選手控室A及びB

- 1 利用は、当日の選手及び監督セコンドのみとし、検量前及び試合前の控室として利用する。それ以外の者は、休憩や食事場所として利用しない。(別途控所や選手用観客席あり)
- 2 長時間の利用は避け、十分な間隔を空けること。
- 3 適宜換気を行い、選手同士の会話は控える。
- 4 利用後は使用した箇所の消毒を行い、ゴミは全て持ち帰る。

検量

- 1 試技票は事前に配布し、監督サインも含めた必要事項を記入して持参する。検量時は記載された体重を目視で確認し、係がチェックを入れる。(特別ルール)
- 2 検量待ちの選手の間隔を適切に保つよう、表示をする。
- 3 検量は最少人数で対応する。
(TC1名が呼出、審判2名が計量、審判1名検量リスト、係員1名試技票)
- 4 選手ごとに計量器の消毒を行う。
- 5 室内の換気を適宜行う。
- 6 競技会場には予備検量室を準備する。その他に練習会場2か所に設置するが、宿舎等には設置しない。

アップ場A(12面)及びB(3面)

- 1 セコンドについては、状況により特別ルールを採用する。
(1選手2名までとし、選手1名増すごとに1名追加とする。)
- 2 1面につき最大3名までとする。

- 3 1試技目までのアップは必ずアップ場Aを使用すること。アップ場Bの使用は、2試技目前又は3試技目前の選手に限定する。ただし、該当選手でも次試技まで長時間の場合はアップ場Aを使用すること。
- 4 選手以外はマスクを着用する。
- 5 椅子は選手数のみ設置する。
- 6 アップ場内のリング移動は極力避け、なるべく同じバーを利用する。
- 7 大きな声での指示は控えること。
- 8 炭酸マグネシウム容器は設置しない。炭酸マグネシウムは小分けにして各選手に配布する。使用後は回収箱に廃棄すること。（特別ルール）
- 9 バーごとに消毒シートを用意し、常に消毒できるようにしておく。
- 10 持ち込んだものは全て持ち帰る。
- 11 混雑を避けるため、入退場を必要に応じて行いアップ場での休憩は控える。

招集所

- 1 椅子は適切な距離を保ち配置し、移動しない。
- 2 重量変更は、変更用紙に記入して申告する。筆記用具は持参する。（予備は用意する）
- 3 大きな声での指示や声援は控えること。
- 4 炭酸マグネシウム容器は設置しない。（特別ルール）
- 5 飲み物容器やテーピング等、使用したものは各自持ち帰る。

試合場

- 1 選手のマスクの使用を認める。（特別ルール）
- 2 器具係は、状況によっては特別ルールを採用する。（マスク・手袋の着用）
- 3 試技ごとにバーを消毒シートで拭く。
- 4 レフリーは、マスク（フェイスシールド等含む）を着用する。
- 5 ジュリーは、席の間隔を広く設定し、マスク（フェイスシールド等含む）を着用する。
- 6 グループ終了ごとに、審判席、使用機器の消毒を行う。
- 7 審判席への飲み物を提供する場合はペットボトルの飲料とする。状況によっては提供しない。

会場

- 1 換気を適宜行うため、窓やドアの開閉を工夫する。
- 2 2階の応援席については、椅子の移動はしない。席については同一の行程をする者同士以外は一席分の距離を確保し着座すること。3階の固定観客席も同様とする。
- 3 応援は拍手等を用い、大きな声での声援は控えること。
- 4 ゴミは各自で持ち帰る。
- 5 カメラ席は、試技を行っている選手の撮影時のみ利用し、他の選手の時は席を空ける。カメラや三脚の常設、カメラ席での常駐は禁止とする。ただし、報道関係者はこの限りではない。
- 6 インタビューコーナーは、選手との距離をできるだけ2mを目安に（最低1m）確保して設営する。
- 7 報道関係者はマスクを着用する。

式典

- 1 開会式及び閉会式は実施する。ただし状況によっては簡略化または実施しない。
- 2 階級ごとの表彰はトータルの入賞者（男子8位、女子6位）のみ実施とする。ただし状況によっては簡略化または実施しない。
- 3 授与者・介添えはマスク（フェイスシールド等含む）を着用する。
- 4 入賞者のマスク等の着用は任意とする。（入場前に確認する）

練習場（新居浜南高校：6面、新居浜工業高校：8面）

- 1 インターネットによる予約制とする。
- 2 予約する際の人数は1回の予約につき3名までとし、それを超えての予約は異なる時間または異なる会場で予約すること。
- 3 1面の使用人数の上限は3名までとし、使用面の移動は禁止する。
- 4 予約期間は希望日の1週間前の正午から前日の17時までとする。

- 5 取り消す場合は前日の15時までにする。
- 6 練習期日は8月4日から8日までの午前9時から午後5時までとする。(8日は正午まで)
- 7 8月4日の練習は5日または6日出場する選手のみとする。
- 8 使用できるのは試合前の選手に限る。
- 9 練習会場の1回の使用時間は、準備と片付けを含めて1時間以内とする。
- 10 練習会場に更衣室等は用意しているが、長時間の使用は控えること。
- 11 練習会場の予約枠と輸送バス時刻表は連携していないため、移動には注意すること。
- 12 炭酸マグネシウムについては、小分けにして各選手に配布する。使用後は回収箱に廃棄する。
- 13 練習終了後、選手及び付添者が使用した器具の整備・消毒を行う。
- 14 飲み物容器やテーピング等、使用したものは各自持ち帰る。
- 15 大きな声での指示は控える。

役員・補助員

- 1 場内では、マスク（フェイスシールド等含む）を着用する。
- 2 物品の受け渡しを伴う係は手袋を着用する。
- 3 大きな声は出さず、広い場所での指示は場内放送及び拡声器等を使用する。
- 4 互いに適切な距離を保ち、三つの密を避ける。
- 5 通常の大会とは異なる状況であることを理解し、参加者の模範となる行動を心がける。
- 6 健康管理に留意する。
- 7 会場内を巡回し、感染防止対策が実施されているか点検し指導する。
(係員、巡回場所・時間を決めて対応する)

弁当及び飲食について

- 1 弁当引換所は競技会場1階北東（選手控室B周辺）にて引き渡す。(11時30分から)
- 2 弁当容器は14時まで返却すること。宿舎等への持ち帰りは禁止とする。
- 3 観客席及び応援席での食事は禁止とする。
- 4 役員・補助員及び選手関係者は指定された控所で食べること。
役員・補助員：2階又は3階競技運営役員・補助員控所
選手監督等：選手控室A・B（当日選手のみ）、3F選手控所

宿泊

- 1 宿泊関連の業界団体が定める最新の『宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン』に従う。
- 2 宿舎の体重計は事務局では設置しない。

その他

- 1 現地で新型コロナウイルス感染症の陽性になった場合は保健所等と確認の上、自宅に移動することになるので、予め移動手段を確保しておくこと。
- 2 現地での宿泊療養施設へは入ることができない。
- 3 感染状況の悪化に伴う入場制限や、台風等の天候の影響等による宿泊及び交通の変更によって生じた取消料については、主催者側では負担しないものとする。